

武庫川流域各市、県民局等へのヒアリング結果要点整理表

060202 まちづくり WG 主査 田村

	現状と課題					今後の動向					備考
	1. 流域人口、土地利用、開発規制等	2. まちづくり、都市づくりとの連携	3. 景観、環境保全、地域資源、利水等	4. スポーツ、レクリエーション、イベント、学習利用等	5. 総合治水への取り組み、防災、超過洪水対策等	1. 流域人口、土地利用、開発規制等	2. まちづくり、都市づくりとの連携	3. 景観、環境保全、地域資源、利水等	4. スポーツ、レクリエーション、イベント、学習利用等	5. 総合治水への取り組み、防災、超過洪水対策等	
1 県河川計画課の回答	<p>P1～2/107 治水計画で用いる土地利用は何年時点か？ 土地利用の変遷1993年まで？ P3/107 ネット流域人口の合計、氾濫域含めた人口は？</p> <p>近年の動向は？ 市街地の流出抑制対策は各市で順次取り組む。</p> <p>P7/107 兵庫県における森林対策の現状H14～23年 87,500haの環境対策育林事業の武庫川流域では？</p>					<p>P10～11/107 武庫川流域の将来人口について 2000年から2050年推計（2004年兵庫県人口減少社会の展望研究PJ） 流域の2000年人口296万人、ピーク人口2015年307.3万人、2050年人口262.9万人</p> <p>流域と氾濫域のネット人口としてはどうか？ 確実に人口減少が推計されているが、治水計画、利水計画との連動は如何？</p> <p>P12～80/107 神戸国際港都建設計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 2000年を基準とし、20年後を展望した上で目標年次2010年として定める。 阪神間都市計画区域も同様。</p> <p>河川整備計画が20年～30年、基本方針が超長期を展望するスパンとあわないが？</p> <p>P46/107 既成市街地の土地利用転換の促進、公園、緑地の整備。 雨水や地下水、河川等の総合的な管理を進め、水資源の循環活用を推進する。 以上具体的方策や計画は？</p> <p>P47/107 区域区分の方針、人口、市街化区域面積、充填度等計画と現時点での差異はどうか、将来動向は？基本方針に記述の際の留意は？</p>		<p>P81～82/107 武庫川への利水依存の現状 具体の説明をお願いしたい。 甲武橋地点の河川流量と地下水流量3.21億m³/年の内訳は？</p> <p>P83～102/107 武庫川環境指標の推移と対策について</p> <p>P104～107/107 生活用水推計値について 推計地域が神戸・阪神となっているため単純に比較できないが、前出の流域人口推計と上水需要量の伸びを比較すると、人口が約3.7%の伸びに対し、水需要は13%から32%の伸びとなっている。過剰推計ではないか？</p>		<p>*明朝文字は回答 ゴシック文字は田村の意見、質疑</p>	

	現状と課題					今後の動向					備考
	1.流域人口、土地利用、開発規制等	2.まちづくり、都市づくりとの連携	3.景観、環境保全、地域資源、利水等	4.スポーツ、レクリエーション、イベント、学習利用等	5.総合治水への取り組み、防災、超過洪水対策等	1.流域人口、土地利用、開発規制等	2.まちづくり、都市づくりとの連携	3.景観、環境保全、地域資源、利水等	4.スポーツ、レクリエーション、イベント、学習利用等	5.総合治水への取り組み、防災、超過洪水対策等	
2. 県民局の回答											
神戸県民局	とくになし	とくになし	有馬川の修景や河川敷の利用 国道176号有馬川の「ふるさと桜づつみ回廊」	道場小学校周辺の有馬川で水辺の小径や広場整備しているが利用が少ない。 同地域で地元による生物観察会開催。	とくになし	とくになし	とくになし	有馬温泉地域の緑化等支援をしているが地元住民、観光業者等の積極的協力が少ない。	とくになし	とくになし	
阪神南県民局		高水敷のホームレス問題 不法耕作 ゴルフに打ち放しバイク等の不法投棄などの問題 ユニセフカップ西宮国際ハーフマラソン(年1回) 宝塚市主催ハーフマラソン	景観形成重要建造物等として国道2号武庫大橋や松並木等への適用が望まれる。 草刈や枝の剪定等の要望が多く、管理と対応に限界。 武庫川の堤防強化で裏法尻の改修により松や桜の伐採が必要になる。 花いっぱいモデル助成事業の活動継続が課題。	高水敷は尼崎市、西宮市により阪神間都市計画緑地として都市計画決定されている。 広く市民に親しまれ利用されている。 利用状況(利用人口、利用圏域、利用目的等)に関するデータは？	浸水想定区域図の作成及びCGハザードマップの作成予定(H17年度) インターネットで現況と予測が出来るよう対策。いつ出来るのか？			堤防強化工事と景観保全や樹林保存について地元協議が必要。 尼崎市西昆陽地内(動物愛護センター下流側)で、ホームレス、不法投棄、不法耕作問題があった。 これへの対応策としてコスモス畑の整備、市県の維持管理協定の締結協議予定。 川の駅構想予定なし。 今後流域委員会で検討する。	阪神南地域の防災機能を高めるため、備蓄機能を有する広域防災拠点を整備する。 下流地域で適地選定。		
阪神北県民局	阪神北地域ビジョンの行動目標を進める。	より良いコミュニティづくりが不可欠。 アドプトとしての活動等がまちづくりにもつながる。 宝塚中心市街地地区の都市再生整備の産官学民協働提案活動。 ビジョン委員会の水問題Gのエコバスによる現状把握、河川マップづくり活動。 状況を教えてほしい、資料として提示願いたい。	三田市県三田庁舎付近の花いっぱいモデル事業。 全ての水域で環境基準を達成している。	流域エコバスツアー、自然観察会の開催。	携帯電話を活用した県、市町、県民間の防災情報共有システムである「ひょうご防災ネット」の普及、啓発、運用。 ひょうご防災カレッジ事業、防災訓練事業。 内容について説明と資料提示願いたい。			武庫川流域全体を見通した環境学習のあり方、内容について武庫川流域環境保全協議会で検討したい。			

	現状と課題					今後の動向					備考
	1.流域人口、土地利用、開発規制等	2.まちづくり、都市づくりとの連携	3.景観、環境保全、地域資源、利水等	4.スポーツ、レクリエーション、イベント、学習利用等	5.総合治水への取り組み、防災、超過洪水対策等	1.流域人口、土地利用、開発規制等	2.まちづくり、都市づくりとの連携	3.景観、環境保全、地域資源、利水等	4.スポーツ、レクリエーション、イベント、学習利用等	5.総合治水への取り組み、防災、超過洪水対策等	
丹波県民局	とくになし	とくになし	緑条例により開発時に農村風景にとけこむような建築とするよう指導している。 ふるさと桜づつみ回廊の植栽管理は篠山市の桜協会に依頼している。	人と自然博、篠山産業高校との協働による武庫川を考える学習会開催。	消防団による水防活動の推進。 H17年度に浸水想定区域図作成中。			広がりのある農地、山裾の集落、背後の山並みが景観特性であり、今後ともこの風景を維持していく必要がある。	上流河川改修事業における自然環境の保全・創出の実験。H18年度子供河川環境調査の実施予定。 「川の駅」構想については流域で検討される問題。	H18年度にはハザードマップを作成し地域住民に配布予定。 丹波県民局篠山庁舎内の水防倉庫に水防資材の確保。 雨水貯留施設の設置に対し開発指導要綱の改正が必要。	
3.各市の回答											
神戸市	開発面積 3000 m ² 以上の場合調整池設置指導。 北神地区は H17 年で約 8 万人。僅かに増加。 森林については、近緑、風致など指定し保全に努める。	有馬川における河川愛護アドプト事業による愛護活動を実施。 道場町の青石古墳、鎌倉橋、塩田八幡から千苅水源池にかけて桜めぐりなどがある。	市街化調整区域においては、「人と自然との共生ゾーン」の指定に関する条例を制定。農村らしい景観、土地利用の推進。 毎年春に千苅貯水池を中心に桜祭りを開催。 全市年間配水量約 2 億 160 万 m ³ のうち、千苅から約 10%取水。	県と流域 7 市などが「武庫川流域保全協議会」を結成し、環境保全のための各種啓発活動を実施。 各戸貯留については市内の概ね合流区域において購入費の助成を実施。 北区において治山事業実施。	小学校 10 箇所、公園 1 箇所で雨水貯留施設整備。 各戸貯留については市内の概ね合流区域において購入費の助成を実施。 北区において治山事業実施。	人口は、少なくとも H22 年ごろまではこれまで同様微増。 武庫川周辺の藤原台、鹿の子台は市街地整備が進むが、今後は都市と農村が共存できる地域特性を生かしたまちづくりを進める。 高齢者などの避難誘導体制について検討が必要。 開発による調整池について民間が倒産などで管理できない場合、H17 年より市が引き継ぎ管理する。	とくになし	武庫川周辺は市街化調整区域であり当面景観法の適用は見合わせる。市内 7 箇所について景観法適用予定。 H22 年予測で、全市 1 日平均配水量 73 万 m ³ のうち、千苅から約 15%取水。北神地区 1 日あたり 12 万 m ³ のうち、千苅から約 75%取水。	「川の駅」構想について、河川管理者である県と流域の各市が連携し、広域的な対策を含めて検討していくべき課題である。	県が作成予定の浸水区域想定区域図をもとに洪水ハザードマップを作成予定。 市内に水防倉庫 33 棟設置(市地域防災計画) 校庭貯留は今後 2 カ年で 4 箇所程度整備予定。 各戸貯留の区域拡大については検討課題。	
以下未整理今後作業予定											